

LIP（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

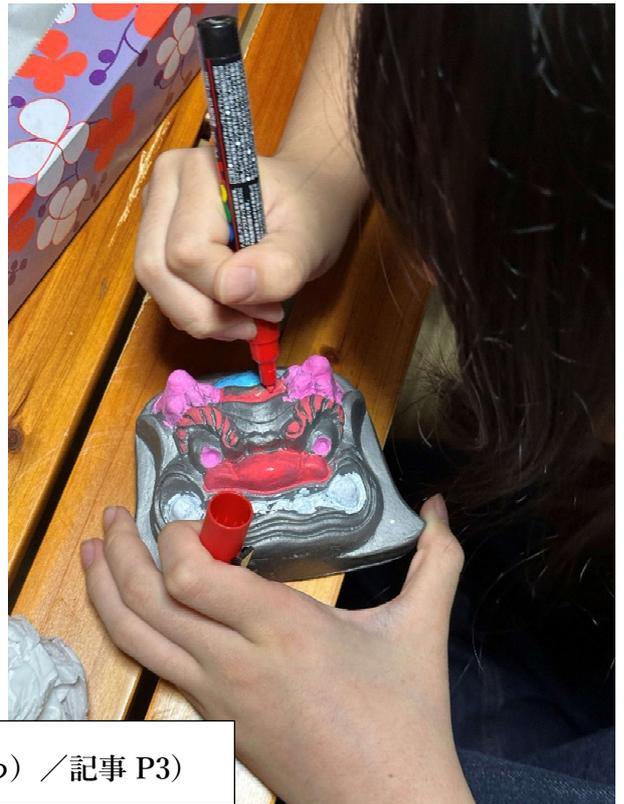
2026年1月号



←←← 鉄印旅は、楽しいよ（記事 P2）



ミニ鬼瓦ワークショップ（写真・と輪（わ）／記事 P3）



- ✦ 【鉄道+御朱印】=[鉄印] ~鉄印旅は、楽しいよ⑫❤~
- ✦ 瓦職人さんのお話とミニ鬼瓦ペイントワークショップ
- ✦ HPVワクチン薬害訴訟
- ✦ 光善寺駅前で、中振北遺跡第8次調査現地説明会
- ✦ 今月の五行歌
- ✦ なんちゃって農業女子(52)
- ✦ エッセイ「蓮の花に魅せられて」
- ✦ イベント紹介／会計報告／編集後記

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913（18時以降）



【鉄道+御朱印】=[鉄印] ～鉄印旅は、楽しいよ⑫❤～

～明智鉄道～2025.6.4～

【明智鉄道】明智鉄道（あけちてつどう）は、岐阜県恵那市（恵那駅）から、明智町までを結ぶ、全長25.1kmの第三セクター方式のローカル鉄道です。国鉄明知線を引き継ぎ、四季折々の風景や沿線の「日本大正村」「岩村城跡」など、歴史と自然を楽しめる観光路線として親しまれています。

【名古屋おでかけきっぷ】JR 東海の名古屋近郊在来線（東海道線、中央線、関西線、高山線、太多線、武豊線など）の普通列車（快速含む）が1日乗り放題になるお得なフリーきっぷで、三河三谷～関ヶ原・大垣・美濃赤坂、名古屋～釜戸、大府～武豊などの広範囲をカバーしており、週末や休日に名古屋周辺の観光を楽しむのに便利です。

2024年冬から青春18きっぷの運用が変わり、値段はそのままですが、今までのように期間内ならいつでも使ったり、複数人で使うことはできなくなりました。連続する3日又は5日の切符を、日付を指定して買うということになったため、(日帰りを連続5日、あちこちに行くという強者もいるようですが)基本泊まりながら移動することを想定して使うものになった感じです。

では、日帰りで安く使える切符はないものか…とネットで調べたところ、【名古屋おでかけきっぷ】というものがあるらしいということが判明しました。うちからだ、亀山～岐阜・名古屋・この先まで結構な範囲をカバーしているようで、今回の旅は「名古屋おでかけきっぷを使ってみたい❤」ということで、鉄印旅の行き先を決めました。

ネットで予約して、このフリー切符のスタート地点で紙の切符を発券しないといけないというレトロなルールがあるのですが、これをクリアすれば、自由区間内は1日1500円で乗り放題です。「乗り放題」といわれると、なんか「たくさん乗らないと損」みたいな気分になるもので、今回は観光後回しの乗り倒し旅です。どこかでミスって積むかもしれないし、観光なしで電車乗り倒したいみたいになると、他の人を誘いにくいなーということで、独り旅を決行することにしました。

JRの自宅最寄り駅～木津～加茂～亀山と乗り換えて、待ち時間8分で亀山で紙の切符を発券します。うまく切符が買えたらすぐに電車に乗れますが、遅れたら40分以上待ちぼうけです。亀山駅はいつも乗り継ぎ駅で、券売機がどこにあるかもあんまりわか



らない中で、ドキドキしながらでしたが、ふたを開けたらホームに窓口があり、他にお客さんはいなかったの、あっさり発券できました。

この切符、ネットであらかじめ予約していないと、窓口や券売機では買えなくて、発券するには代金引き落としに使ったクレジットカードを窓口で見せて「名古屋おでかけ切符をお願いします」と言う(券売機だと、名古屋おでかけ切符のボタンを押して、引き落としに使ったクレジットカードを入れる)という、「それなら、そのままネットで完結してくれよ」という、変わった切符なのも面白い😊

切符を手にいれたら、青春18きっぷでも通ったことあるルートですから、まあまあ順調に、名古屋回りで明智鉄道の始発駅である恵那駅へ。ここでは待ち時間にしっかりマンホールカードと、お昼御飯のチラシ寿司もゲットして、ほんとはここで鉄印だけ買うこともできるのです(一駅区間の切符をかうと、電車に乗らなくても鉄印の購入はできるのです)が、せっかくなら少しだけでも、のんびり電車で揺られて明智駅まで…はいかなくて、途中の岩村まで参ります。岩村は三セクに付き物の宿場町で、観光もちよっぴりしつつ、ここでもマンホールカードももらえたりするのでした。

鉄印は一枚あればいいのですが、種類が違うものなら各一枚づつは買えるので、鉄道の収入にもなることだし、応援購入として4枚購入。岩村駅の人が日付を間違えていることには帰宅して気がついたのですが、これもまたご愛敬。

終点までいかなかったのは、欲張ってもうひとつ鉄印取りに行こうとしたのですが、その話はまた次回。

(たなべみか)

瓦職人さんのお話とミニ鬼瓦ペイントワークショップ

12月20日(土)午後、高槻市城北町の横山医院で、瓦職人さんのお話し会&ミニチュア鬼瓦ペイントワークショップが開かれました。主催は、高槻市でまちづくりと空き家利用、コミュニティづくりに取り組む団体「と輪(とわ)」です。

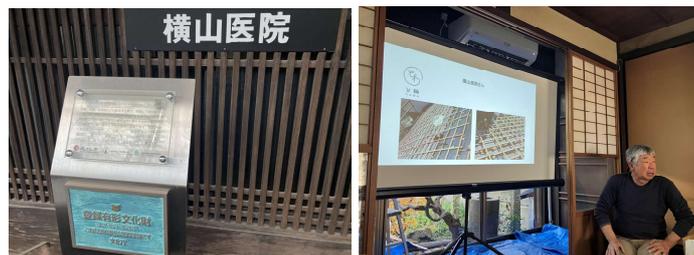
国登録有形文化財に指定されている横山医院では、ただいま屋根の瓦の葺き替え工事中。その指揮を執る吉村禎浩さんに、日本瓦の歴史や技術、職人のあり方などについて、お話を聞きました。

吉村さんは、奈良県の出身。奈良の建築レベルはとても高いのだそうです。とにかく工事を依頼する施主側の知識が凄い。瓦職人さんに「名刺頂戴。一生のお付き合いだからね」と言われる。それって、「一生責任持てよ」ってこと。昔ながらの土葺き(どぶき)の工事をしていると、「これ、どこの土?」「どれくらい寝かせてくれた?」知識のある施主と職人が丁々発止のやり取りで、手抜きが許されない優れた工事ができるのです。

「土葺き」というのは、瓦の下に葺き土を敷いて固定することで、瓦の安定性を高め、断熱・防音性能を高める工法です。葺き土を作るには、赤土を選び、砂や藁すき、粘土を混ぜて、水分を加えてよく練る、時間をおいて練る作業を何度も繰り返し、約1年かけて土を作ります。ただ屋根が重くなるため耐震性の問題から、最近では、瓦を栈木に引っ掛けて釘やビスで固定する「栈葺き工法」が一般的です。横山医院も栈葺き工法ですが、細やかな工夫を施し丁寧に行っていると、スライドで説明してもらいました。

知恩院の大方丈や八坂神社の南楼門など、文化財の改修にも携わってきた吉村さん。文化財の建物を解体補修する際に古人の知恵と技術に感嘆することが多いそうです。今のように正確に測れる測器もない時代に、古の職人はどうやってこんなにきっちりつくりあげることができたのだろう。栈は杉の赤身(木の中心部分)を使えと教えられた、どうして?と聞いていたが、古い建築物を解体すると赤身のところがきれいに残っている、白アリは木材の白いところは食べるが赤いところは食べない、天然の防腐剤なんだなと。

今どきの建売住宅はバリアフリーで住みや



すく便利ですが、せいぜいもって30年が寿命です。一方職人が昔の工法を活かしてしっかり家を作れば、その2倍3倍でも長もちするという。2018年の大阪北部地震では、高槻でも瓦葺きの住宅などが大きな被害を受け、「危ないで」とささやかれました。気になって見に行ったら吉村さん、しっかり測って一つの木材で作らないといけないはずの柱がつぎはぎで作られていたり、「こら壊れるわあ」と思ったとのこと。

瓦屋根を作るときに考えることは、「一番に雨が漏らない。二番目にこの状態がどれくらいもつか。三番目に見ばえがいいように」、この順番を間違えてはいけない、「職人に一番求められるのは、まず施主さんにいいものを作ろうという気持ち」、技術はそこについてくる、そんな職人魂のお話を聞いて感動。最後に、「皆さんも本を読んで勉強してくださいね」と言われて、ちょっとドッキリしました。40分のお話と質疑応答が終わると、ひゅっと身軽に立ち上がり、「では工事の続きを」と吉村さんは屋根の上へ。

その後休憩をはさんで、ミニチュア鬼瓦ペイントワークショップ。私は障害のある子のお迎えがあり先に帰ったのですが、親子連れで参加したお子さん方がミニチュア鬼瓦に色を塗り楽しまれたそうです。

(文・写真/豊高明枝)

HPVワクチン薬害訴訟

最後の原告本人尋問の傍聴に行きました。

12月11日(木)大阪地方裁判所でHPVワクチン薬害訴訟の最後の原告本人尋問期日が開かれました。この裁判は、HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)を打った後、頭痛や関節痛、痙攣や記憶障害等様々な深刻な症状を発した少女たちが、国と製薬企業の責任を明確にし、真の被害救済を求めるために、国及びグラクソ・スミスクライン(略称・GSK)、MSDの2社に対して損害賠償を求めて起こしたものです。現在大阪、東京、名古屋、福岡の地方裁判所(以下、地裁)で裁判が行われています。『LIP』では、2016年7月に提訴したこの裁判について、翌2017年2月号及び3月号で伝えています。

11日大阪地裁大法廷で行われた原告本人尋問は、4つの地裁における最後のもので、傍聴席は満席でした。法廷では、2人の原告女性がそれぞれ、原告代理人から30分の主尋問、休憩をはさんで、被告代理人から60分の反対尋問(途中一度の休憩をはさむ)に答えました。30分ごとに休憩を取るのには、原告の体調を慮ってのことです。最初の原告は、中学生の時にワクチンを接種、スポーツが得意でしたが、接種後左腕がだるくなりました。高校ではテニス部に入りましたが、左腕があがらないのでアンダーハンドでしかサーブができない。やがて腹痛、湿疹など、重層的な症状が出て、授業中に足が動かなくなり、大学病院に緊急入院。辛い免疫吸着療法を重ねて、ようやく杖で歩けるまでに回復しました。しかし、看護師になりたいという子どもの頃からの夢を果たすべく推薦入学で入学した大学には通学することができず、退学を迫られます。「夢をあきらめるために、必死で努力した」と言葉に詰まりながら語る原告の言葉に、傍聴席は涙、涙。続いて証人台に立った2人目の原告は、激しい身体症状で入院を何度もしました。最初の入院では寝たきりで管につながれた状態で、脱力で手に力が入らないため、ボールペンを手にくくりつけてもらい、日記を書きました。「だけど、悔しい。ついさっきまで元気だったのに」「プラスのことを考えられない。楽しいはずの17歳が、苦しいことばかり」。そして記憶障害を発症、そんな日記を書いたことも忘れ、家族のことも分からなくなりました。「〇〇子さん」と今はお母さんのことを名前と呼んでいます。反対尋問で、「家で何をしていますか?」と聞かれ、「推し活とか」と答えた原告女性に、被告代理人は、「どんなひとを推しているのか?」「お金はどうしているのか?」と、まるで副反応に苦しむ被害者に楽しみ



はゆるされないとでもいうかのよう。他にもっと聞くべきことはないのかと疑問に思いました。

午後5時少し前に閉廷した後、近くの弁護士会館で報告集会が行われ(写真)、原告をサポートした代理人からの振り返り、記者会見を終えた原告や担当代理人の感想、支援の会や全国ネットワークの代表、他の大阪の原告や、名古屋や福岡から駆けつけた原告や原告のお母さん、遠方から傍聴に駆けつけた医師からの感想など、次々お話を聞きました。2022年4月政府のワクチン積極勧奨再開後、副反応で苦しむ人たちが新たに出てきています。「ネットで見たけど大丈夫という情報しか出てなかったので、ワクチン打ちました。それでこんなことになるうとは……」。今重篤な副反応に苦しむ女性が、厚労省指定の協力病院を回ってもたいした治療を受けられず、ようやく有効な治療法に巡り会い、支援する女性弁護士に語ったという言葉聞き、衝撃を受けました。

子宮頸がんを引き起こすHPV(ヒトパピローマウイルス)には種類がいくつもあり、いずれも性交渉で感染します。子宮頸がんをなくすために有効であるというHPVワクチンを、性交渉の相手となる若い男性にも接種しようと、今テレビなどでキャンペーンが張られていますが、HPVに感染しても9割以上は自然治癒、残りのうちわずかな場合に、長い期間を経て前がん症状からがんを発展していきますが、2年ごとに検診を受けることで、がんになる前に見つけて治療をすることができます。ワクチンを打った場合にも検診は欠かせないと、ワクチン接種の注意書きに記されています。検診で予防できるのであれば、なぜ、重篤な副反応のリスクのあるワクチンを接種しなければならないのでしょうか?

次回期日は、結審。2027年2月頃の予定です。

(文・写真/豊高明枝)

光善寺駅前で、中振北遺跡第8次調査現地説明会

11月1日(土)午後1時から、枚方市北中振3丁目で、中振北遺跡第8次調査現地説明会が開かれました。

千年近く前の町の遺構が埋まっていたの!?

京阪電車・光善寺駅西の説明会場を、たまたまその時間に通りがかった私は、そろそろひとが集まって、掘り返された土地の下をのぞき込んでいるのを見て、一体、何? 「遺跡調査現地説明会」という張り紙に興味をひかれ、用事をすませた後に行ってみました。午後3時までの説明会の終了間際でしたが、どうぞと招かれ資料をもらい、担当の枚方市観光にぎわい部文化財課の職員の方に少しお話を聞くことができました。

以前光善寺駅前ビルが建っていたところを掘った下に、丸や、長方形の穴や、長細い溝のようなものなど、いろんな大きさのくぼみが見えます。「丸いのは井戸の跡。あちらの方のは古くて、こちらのは、ほら、枠が見えるでしょう、あちらより新しくできた井戸なんです」。隣にいる年配の女性に説明している職員さんの説明に耳を立てます。でも、どうして、こんな風に穴があるって特定できるの? 不思議に思って質問すると、「この辺りは全体が黄色い土なんです。そのなかに黒い部分がある。そこを注意して掘ってみると、土師(はじ)器とかの破片が出てきたんです」と職員さん。テントの中に、出土した、土師器や、瓦器、焼締陶器のかけらや、底が欠けた甕などが展示してありました。戦国時代のものと表示があります。今回の発掘調査



で、平安時代後期から室町時代(11世紀後半から15世紀)頃にかけてと推定される建物の柱穴、井戸、区画溝からなる中世・街道町の一画を発見することができたのだそうです。

資料によると、中振北遺跡は、中世を主とする遺跡で、2019年京阪電鉄本線の連続立体交差事業に先立つ試験調査で発見されたとのこと。遺跡全体で、これまで8回にわたる調査が行われ、古墳時代後期頃には土地利用が始まり、奈良時代(8世紀)頃には宅地化が進み、中世には町が整備されてきたことが明らかになってきたのだそうです。

再開発で変わって行く光善寺駅西地区

光善寺駅西地区には、約3年前まで昭和の時代を色濃く残す町並みが広がっていましたが、再開発事業でいまや大きく姿を変えています。駅前の古い建物が次々壊され、26階建てのタワーマンション建設が現在急ピッチで進行中。昔懐かしい雰囲気でお菓子を売っていたお店が閉じる日には、閉店を惜しんで「今日で最後」のケーキを求めるひとの長い列ができました。丁寧に診てくれると評判の女性医師のクリニックは、名前を変え、新しくできたビルに移って診療を続けています。再開発事業と共に進められてきた遺跡調査はまだもう少し続くようです。この日見学会のあった土地はやがて埋め戻され、駅前ロータリーの広場になるのだということ。

約3年後新しくできた高架の駅前の様子を想像してみます。そこに行くひとたちに「この下に、雅な貴族や武士のいた時代の遺跡が眠っているんですよ」と言ったら、きっとびっくりすることでしょう。

(文・写真/LIP編集局・豊高明枝)



LIPが選ぶ

今月の五行歌

アフガニスタン

ちえこ

砂漠を用水路で緑に変えた

中村哲さん

彼が生きていたら

ノーベル平和賞まちがいなし

紹介した本を

文恵

図書館で

借りてくれた人

前よりももつと

好きになる

煙で客寄せする

いぶやん

鰻屋さん

そんないいにおいが

僕の歌のコトバにも

あるといいな〜

五行歌(ごぎょうか)とは、五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、普段使う言葉で、日々の思いを綴ります。枚方では、ひらかた五行歌会が、8月を除き月一度開催。10月から、メールで歌会も始めました。

(連絡先: akkie.toyotaka@gmail.com)

または 090-5893-5635・豊高)

No.52

なんちゃって農業女子(笑)

前回ご案内したイベント「福菜市」は大盛況でした。野菜もほぼ完売し、「クリスマスリース作りのワークショップ」も大盛況で、2026年も引き続き担当させて頂ける事になりました。写真①は、お客様が作ったリースですが、「どんぐり」や「松ぼっくり」などに爪楊枝を刺して、リングに装着しやすいように、ファームの利用者様と一緒にたくさん準備して作ったのと、色んな自然素材の物もしっかり準備しておいたので、参加された親子さんや、マダム達にも、喜んで飾り付けしてもらった事が出来て、皆さん、「世界にひとつだけ」のクリスマスリースを仕上げた大喜びのワークショップでした。ぜひ今年は、LIP 読者の皆さんもリース作りにご参加ください。または、ワークショップをして欲しい!!というお声かけがあれば、企画させて頂きますので……LIP 編集局までご連絡下さい。

ワークショップで思い出しましたが……2025年3月号で投稿した「味噌作り」のその後をご報告いたします(笑)。写真②

2月に仕込んだ味噌たちは、10ヶ月寝かしておいたのですが、とても良い出来栄ですよ。味も抜群です!!と、自分で作った味噌を自分でほめる(絶賛する)ことから、「手前味噌」という言葉が生まれたそうですが、全くその通りです。ホンマ、手作り味噌はめちゃくちゃ美味しいですよ(笑)。大豆にもこだわって、麴も「玄米麴」で仕込んだ物。

写真③は、手作り味噌キットを使って「味噌作りワークショップ」をさせて頂き、参加者の

方と一緒に作った味噌です。こちらは大豆も仕込みやすいように最初から煮てあるので、初心者向けにはお勧めです。もし手作り味噌に興味がある方、今年も2月ごろに「味噌仕込み」する予定ですので、是非是非一緒に仕込みませんか??味噌の仕込みは、一人でも出来ますが、たくさんの人と行う方が楽しいです。仕上り良いです(しらんけど)。

では今年もよろしく願いいたします。

文・写真／へそくん



写真①



写真③



写真②

蓮の花に魅せられて

伊藤 美紀子

(「碧」2025より)

令和6年7月の下旬、私は蓮の花に夢中だった。

友人と行った、大阪市都島区の藤田邸跡公園の隣のひょうたん池で、白い蓮の花を見たことがきっかけだ。着いたのは正午で、たくさんの白い大きな蕾が風に揺れていた。

わが家の近くの山田池公園にも咲いているのではないかと思つて明るる日に出掛けたら、絵に描いたように美しいピンクの蓮の花が咲いていた。縁どりは濃いピンクで、中心にゆくにつれ淡い色になっている。

蓮の花は、夜明けから9時か10時頃まで咲いて、そのあとは閉じて蕾の形になるとネットで学習したので、時間内に出掛け、実際は何時ごろに花を閉じるのかを観察することにした。長時間の滞在に備えて、単行本とお茶と飴を用意して行った。蓮池から100メートル程離れた木陰の椅子に腰掛けると、心地よい風が吹き、自宅のクーラーの部屋に居るよりも爽やかだ。

花が閉じる時間を待つて何度か蓮池を見に行っている間に、腰掛けていた椅子に他の人が座っていることがあったが、高齢者の夫婦らしき人は興味深かった。2〜3人用の長椅子が少し間を空けて2つ置いてあるのだが、ふたりは別々の長椅子の前でラジオ体操をしている。音楽はかかつていないのに動きは揃っている。終わるとそれぞれに椅子の背を持ってストレッチを始めた。私はその長椅子に座りたいものだから、別の椅子からチラチラと様子を伺っていたら、ふつと男性が歩き始めた。「帰るぞ」の一言もない。少し遅れて他人の様な感じで女性が続く。このまま家に帰って、無言でお茶を入れたり食事をしたりするのだろうか。これを阿吽の呼吸というのだろうか。

そうこうするうちに10時になり、心なしか開花数が少なくなつたような気がした。10時半には、随分地味な蓮池になっていた。

私にはもう一つ、気になることがあった。

蓮の花は「ポン」と音を立てて開くと言われている。幸運にも家の近くに、こんな立派な蓮池があるのだから、そんな可愛い音が聞けるなら、なんとしても聴きたい。

次の日は、日の出が5時であることを確認して4時半に家を出た。10分で公園の入り口に到着した。入り口から蓮池までの10分の間にすれ違った人は高齢者ばかりで男性8人、女性8人だ。ちなみに、公園を出るまでの1時間ほどでは100人以上の人とすれ違った。皆、これほど早朝から努力しているのだから、平均寿命が延びるのは当然のことだろう。

蓮池には4時50分に着いた。まだ夜は明けきらないのに、花は既に開いている。蕾が開いてくれないかと粘ってみたが、様子が変わる気配がない。待ちながら再度スマホのネットで「ポン」について検索すると、植物園の職員っぽい方のブログで「花はゆっくり開きます」と書いてあった。以前に「音はしません」と書いてあるのは見ていたが、友人は皆、音がすると信じているので、是非確かめなくてはと思ったのだが聴くことはできなかった。

何故、音がすると言ひ伝えられているかとい

うと「開花音を聞けば悟りが開ける、成仏できる」と語り継がれたのは、壮大な歴史ロマンだと書いてあった。

山田池公園に通い詰めた4日間は、全て答えがネット検索でわかるし、無駄な動きではあったが、私は結構楽しかった。

花は、何時に開いて何時に閉じるのか、開花時に「ポン」と音がするのかなどを実地で知り、学生の頃の夏休みの宿題で植物研究をした気分だった。

副産物として勉強になったのは、信号の青の時間が昼と夜では違うと知ったことだ。アルゴリズムという操作がされて、走行している車の状態により変わるらしい。昼間よりずっと頻繁に信号が変わつたので、交差点での待ち時間が少なくて楽だった。

蓮の花は可憐で美しく、匂うような花だった。目だけでなく、心も潤い、楽しいひとときをもたらししてくれた。来年の楽しみがまた一つ増えた。

枚方市のエッセイサークル文文の伊藤 美紀子さんの作品です。

エッセイサークル文文はいつでも会員を募集しています。お気軽にどうぞ。

◆例会 毎月第3金曜日 午後1時〜5時(8月を除く)

◆場所 生涯学習交流センター 他

◆年刊の作品集「碧」は枚方市立図書館で借りることができます。

イベント・サークル・ボランティア情報

メンタルケア短期講座 ～無料講座体験・説明会～

身近な人や職場等における心理支援やセルフケア、対人関係改善を目的とした6回講座の開催にむけた説明会です。

(2回とも同じ内容)

◆日時：1月20日(火) 10:30~12:00
1月20日(火) 19:15~20:45

◆場所：ラポールひらかた 研修室2

◆参加費：無料

◆定員：各15名

◆対象：18歳以上

◆申込・問合せ先：NPO法人京阪総合カウンセリング

TEL 072-814-7140

メール jimu@npo-ksc.net

http://www.npo-ksc.net

【参加者募集】勉強会「原発は本当に安全なの？」

福井県の大飯原発から80km、美浜原発から100kmのところにある枚方市。稼働中の7基の原発は老朽化しているけれど、大丈夫？

講師の柴田さんは、福島第一原発から約100km離れた栃木県北部在住。放射能汚染が深刻な状況です。けれど、住み慣れた故郷から避難することは簡単ではない。どんな暮らしが可能なのだろうか？

放射能と上手につき合って生活していこうと実践しておられます。

日時：2月19日(木) 14:00~16:00 (受付13:30~)

講師：柴田和明

(有機栽培農家、福島原発被害東京訴訟第2陣原告)

場所：枚方市総合文化芸術センター 創作活動室1

参加費：500円(要予約)

定員：45名

申し込み・お問い合わせ

放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

メール：c-k@love-dugong.net

電話：090-5893-5635 (16時以降・豊高)

平和で豊かな枚方を市民みんなでつくる会

電話：072-846-8780

090-7350-0883 (大田)

主催：「柴田和明さんのお話し会を成功させる」実行委員会

【枚方自閉症児(者)親の会 定例会】

自閉症だけでなく生きづらさを感じながら生きている人、その保護者や関係者の方々。どうぞフリートークでご参加ください。話すことにより、何か新しいことに気づけるかもしれません。

◆日時：1月19日(月) 10:00~12:00

2月9日(月) 10:00~12:00

◆場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム

※連絡先 春名 072-397-0053 団 072-868-7359

応援よろしくお願いします。♪

LIP 応援団

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
13,272	前号から繰り越し
2	銀行利息
▼3,872	1月号用紙
▼500	ロッカー一代
▼1,240	12月号印刷代
7,662	計(次号へ繰り越し)

STOP WAR NOW LOVE & PEACE

◆11月1日たまたま張り紙を見て遺跡現地説明会へ。私にとって人生初の体験で、すごい!と感動。その後市のお知らせLINEで、「11月8日茄子作遺跡現地説明会」と案内が届きました。わ、自転車で行ける、うちの近くやん!楽しみにしていたのですが、風邪をひき体調悪化で前日に断念。諦めきれず市の文化財課に電話して聞いてみました。遺跡現地説明会は年に数回開催され、たまたま今回は2週連続で開催なったとのこと。タイミング的に広報に載らないこともあるけれど、SNSや市のホームページで1週間くらい前に告知されるそうです。茄子作遺跡では5世紀前半の須恵器を焼いた窯が見つかったのですが、他にも、穂谷には縄文時代の遺跡、津田には中世の遺跡などがあり、市内で出土したものは毎年「輝きプラザきらら」2階で展示されますとのこと。今度広報で展示のお知らせを見かけたら絶対行こうと思いました。(A)

◆LIP 会計がまたかなりピンチです。ほぼ常時、自転車操業状態ですが、残高4桁になると、次号以降出せなくなります(T_T) 応援のほど、よろしくお願いします。

◆LIPは市民が書き、市民が読む地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか?

イラスト 表紙：平井由恵



新しいジブン、見つけてみいへん?
枚方で仕事を探そうなら!

ひらっコー求人

ほぼ枚方市内と近くの求人だけ集めた
枚方つーしんの求人情報ページ

ひらっコー 求人 🔍

WEBからアクセス ➡

